

○兵庫縣美方郡滑落地ニ關スル

同縣ノ報告

三十二年
四月十四日 報告

管下但馬國美方郡照來村ノ内桐岡、丹土、中辻ノ各大字ニ於テ土地ニ凹所ヲ生シ近來益々甚シキ趣別紙ノ通報有之固ヨリ當廳ニ於テハ未タ充分ノ調査ヲ遂ケタル儀ニ無之畢竟右等ノ事實アル場合ハ郡長ヨリモ何分ノ報告可致筈ナルニ未タ何等申出デス目下郡長ニ照會シテ其實況取調シメ居候得共明治二十六年五月二十三日乙第一課第一〇七號御申越ノ趣モ有之候ニ付不取敢此段及通報候也

(別紙)

別紙之通湯村分署長ヨリ報告有之候ニ付相當御詮議相成候様致度此段及報告候也

追テ該地ハ湯村温泉場ヲ南ニ距ル凡ソ一里許ニシテ尙亦一帶ノ山脈ヲ隔タル八田村ノ内前村ニ於ケルモ年次土地凹没ヲ生スル趣ニ有之候條此段申添候也(三十二年四月十一日 村岡警察署長)

(別紙)

當署部内照來村ノ内桐岡、丹土、中辻ノ各村間土地ニ凹所ヲ生シ近來益々甚シキ趣ヲ以テ三宅巡查ハ別紙ノ通報告セリ因テ實地ヲ視察スルニ報告ノ通ニ有之而シテ之カ爲メ桐岡

村坂出助次郎宅地ハ恰モ居宅ノ中央ヲ貫通セラレ轉宅スルノ止ムヲ得サル場合ニ立至リ他ニ移轉シタリ右ニ關シ同村ニ於テハ種々ノ臆説有之危虞ヲ懷キ居ル輩モアリ云々(三十二年四月十日 湯村分署長)

報告書

照來村大字丹土桐岡兩村耕地ニ凹所ヲ顯出シ漸次其凹所廣大トナル件ニ付實地ニ臨ミ取調候處左ノ通ニ有之候
凹所ヲ生シタル起原ハ明治三十一年七月頃ニシテ其脈絡ヲ調フルニ東ハ丹土村ノ下手ヨリ起リ桐岡村ニ涉リ中辻村ト丹土村ノ稍々中央ニ終ル凹所ノ横巾五六尺ニシテ陷地凹所ヲ生シ低地ニ溢流スル模様ナリ尤モ飯野村ノ上流ニ當リ明神山ト稱スル小岳アリ其岳ノ西面年々崩壞ス之ニ依リ考フルニ其他ノ陷ル箇所ハ總テ高所ニシテ悉ク水田ナリ低所ハ照來川ナレハ此川ニ(高所ニアル水田ノ底ハ泥濘ノ土ナラシカ)溢出スルニ依ルモノナラント想像セラル其陷落スルノ箇所僅少ノモノニアラス(田地反別凡五十丁步)而シテ之レガ工事ニ至リテハ其方法ノ設計ヲ立ツルモノナク又其陷落スルノ所以ニ至リテハ其ノ眞理ヲ考究スル者ナシ然リ而シテ其地ノ陷落スルニ至リ家屋ノ段々崩壞セントシ止ムナク他ノ地所ヲ借り受ケ他ニ家ヲ轉築セシ者有之(桐岡村坂出助次郎)就テハ村長并ニ村會議員等之レヲ憂ヒ

其ノ理由并ニ工事ノ方法并ニ技師ノ出張方等縣知事ニ向ヒ願出候模様ニ有之候(願出ノ月日ハ本月五六日ノ頃)依テ本職モ實地ニ臨ミ取調候處別紙圖面(圖面省ク)ノ通ニ有之候條此段及報告候也
(三十二年四月十日湯村分署詩巡查三宅憲正)

三十二年 報 告
 四月廿二日

本月十四日號外ヲ以テ及通報候縣下美方郡照來村ニ於ケル土地回所ヲ生セシ件ニ付別紙通所轄郡長ヨリ報告有之候條此段及通報候也

(別紙)

- 一 區域ハ照來村ノ内飯野村ヲ基點トシ一方東南ハ桐岡村ヲ通過シ丹土村人家ヲ距ル凡ソ二丁程ノ處迄達シ一方西南ハ中辻村ヲ距ル凡三丁傍ヲ通過シ丹土村人家ヲ距ル凡二丁餘ノ所ニ至リ更ニ東北ニ相曲スルヲ四五間ニ達ス
- 一 三四年前ヨリ飯野村所屬年々多少ノ山崩等アリシカ昨年秋頃ヨリ前項ノ線ヲ沿フテ漸クニ廣マリ本年一月以降益々急劇トナリ現ニ桐岡村端ニ住スル坂出彌藏ナルモノ、家屋ヲ中斷シ居住シ難ク先般他ニ轉居シタル狀況ナリ
- 一 破目ノ長及景狀ハ別紙略圖ノ通り
- 一 地騷區域内ノ耕地ハ凡テ小破レヲ生シ耕ス事出來サルモノ約十町步ト云フ

三十二年 報 告
 四月廿六日

管下但馬國美方郡照來村地内地形變動ノ模様ニ就キテハ既ニ通報及ヒ置候處今般郡長ヨリ別紙ノ通申立有之猶該地ニ於テハ或ハ一朝地震等ノ變アル時ハ如何ナル災害ヲ來スヤモ難計抔危懼ノ念ヲ懷ク者モ不少趣而シテ當縣ニハ之ニ對シテ將來ノ安危ヲ認定スヘキ技師等モ備ヘ居ラス事實如何可有之乎稍々懸念スヘキ廉モ有之候條貴會ニ於ケル御意見承知致度若シ會員中他ノ事件ノ爲メ近傍へ出張ノ序等モ有之實地踏查セシメラレ候ハ、猶更好都合ニ有之候間彼此御一報相煩度通報旁此段及照會候也

但貴會員出張ニ係ル費用ノ義ハ當廳經費ノ都合有之負擔スル場合ニハ至兼候ニ付爲念申添候也

(別紙)

- 照來村變動地ニ係ル取調事項
- 一 變動ノ始メ三十年十二月ニシテ三十一年十二月頃マテ少シ變動ノ處全年十二月以後ハ非常ナル變動トナリ
- 一 動線ノ方向 南北
- 一 線派ノ數 三筋
- 一 動線中別段ノ四ハ大字丹土村桐岡村耕地内字尾崎、岩ノ熊、藤尾、中繩手、井手ノ上

一 動線中 大字桐岡村ニ浸入

一 動線中 大字桐岡村ノ家屋一戸ニ係リ爲其已ニ移轉セリ

一 動地派ハ照來村ニ於テ高低中央ナリ

一 日々ニ變動増セリ

一 變動ヲ生シタル内ニ當雪中劇烈ナリ

一 該變動ニ關セスト雖モ從來ヨリ變動セシハ鹽山村字六

萬且廿九年以後變動セシハ丹土村字長谷坂ナリ

一 原因 大字丹土村 清水土中ニ流入飯野村字山本ニ顯ハ
レ溜水トナル爰ニ三ヶ年程間斷ナク濁レリ之ニ依テ來ス

變動ニハナキヤト想像ス

一 變動地 方面凡拾丁

一 異動地 周圍大割目入レリ

三十三年七月四日
兵庫縣報告

當村ノ内切畑村多子村丹土村鹽山村飯野村桐岡村(別圖第一

號地ヨリ第六號地)ハ明治八年改租以前ヨリ春冬ノ候滑落シ

耕地面ノ幾分常ニ變狀ヲ呈シ地形不定然レモ右滑落地ハ小

區域ニ止リ他ニ波及セザルヲ以テ村民別ニ意トセス俗ニ不

定地ト稱ヘ居レリ然ルニ大字丹土桐岡村飯野村ニ於テ別圖ニ

示ス如ク明治卅年ヨリ初メテ新ニ土地ニ大變動ヲ呈シ其丹土

村ニ於ケル土地ノ變動ハ全村ノ田地反別四拾五町步餘リノ殆

ンド二分ノ一ヲ占メ桐岡村亦貳町步餘ニ及ビ飯野村之ニ亞ギ

實ニ大變動ナリ其狀況ヲ記述センニ本地籍ノ西方第一部(イ

一) 裂線ハ明治三十年三月頃初メテ小ナル割レ目ヲ生シ夫ヨ

リ割目ノ増大スルト共ニ内面下降シ逐年開裂倍増シ現今見ル

カ如キ裂線トナレリ而シテ開裂スルヲ數寸乃至數尺ニ及ビ地

盤ノ高低一尺以上六尺餘ニ達ス第二部(II)ハ第一部ニ次デ去

ル明治三十一年春裂線ヲ認ムルモノニシテ第一部ヨリ始マリ

北方ニ向テ畑地ニ入り照來川ニ至リテ其先端ヲ止ム此裂線ニ
沿フテ亦田畑陷落シテ階段ヲナシ或ハ高ク打チ上リ或ハ窪ミ

テ池沼トナリ地盤ノ喰違フコ二尺以上ニ達ス第三部(III)ハ第

二部ニ次テ明治三十二年三月頃初メテ田面ニ割目ヲ發見シ漸

次變動シ今日目撃スルカ如キ大列線トナレリ此線ハ北西ニ向

テ陷落シ照來川ニ至リテ止ム田畝ノ陷落スルコト六七尺ニ達ス
ル箇所アリ

右變動ハ四時絶ルコトナキモ時々稍大部ヲ陷落シ若クハ所々裂

線ヲ生シ田面僅ニ修繕ヲ加ヘ水ヲ灌クキハ忽チ開裂陷落スル

モアリ右之部中A B IXノ箇所ハ其變動最モ甚シク田地ノ凹狀

ヲ生スルアリ或ハ押出サレテ凸狀ヲナスアリ或ハ上方ノ地陷

落シテ下部ノ地ヲ埋没スルアリ或ハ平地ニアリテハ陷落ノ爲

メ弓形ヲナシ又ハ一面間隙ナク龜裂ヲナシ又ハ凹落シテ池沼

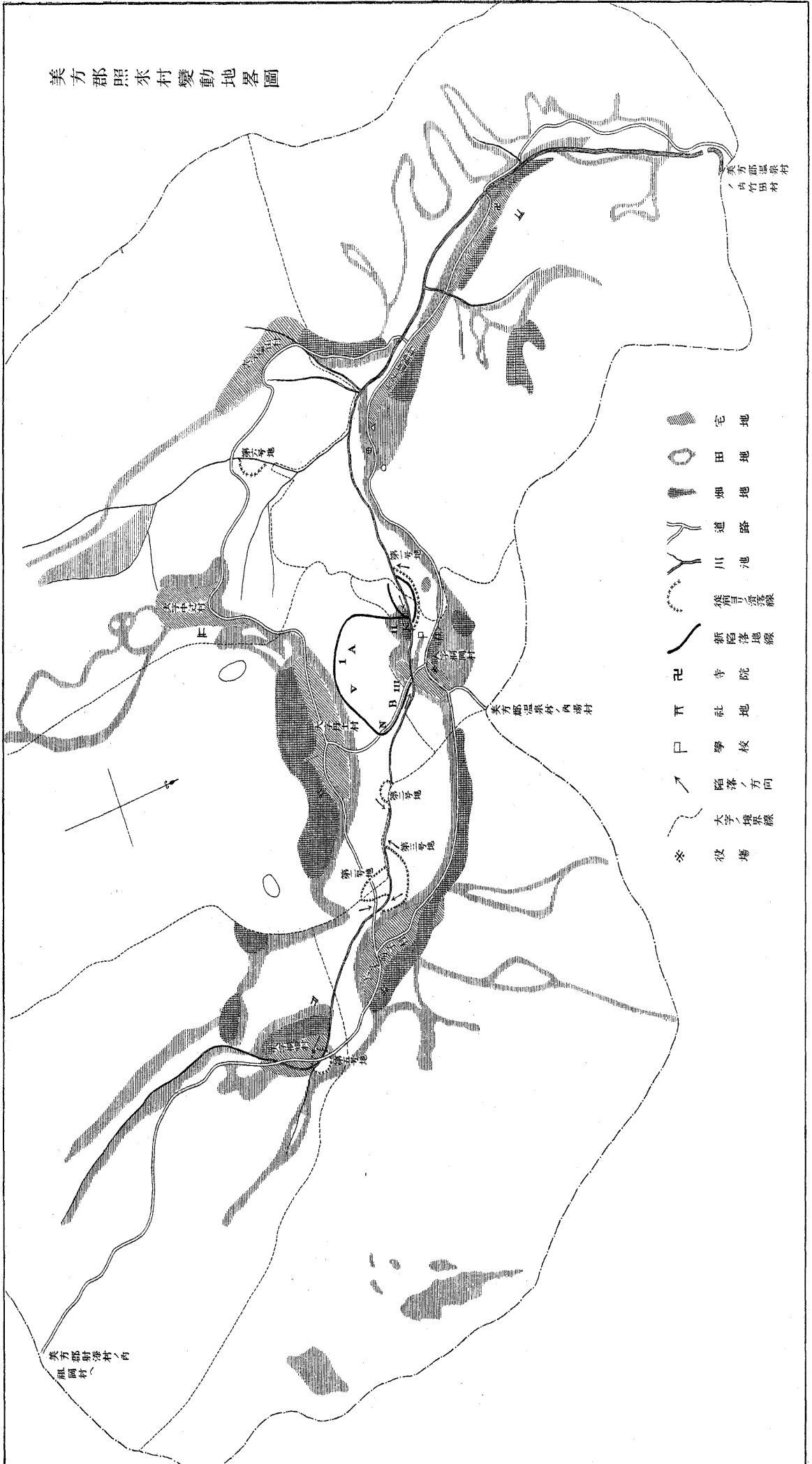
ヲナス等實ニ慘憺見ルニ忍ヒサル景狀ヲ呈ス明治三十年三月頃第一部(工)ノ方面ニ於テ初メテ開裂ノ變動ヲ見シキハ漸ク三反歩許ノ小區域ナリシニ漸次日時ヲ經過スルニ從ヒ増大シテ翌三十一年ニ至リテハ五六町歩ニ及ビ本年ニ至リ二十五六町歩ニ及ヒ尙陷落シツ、アリ

大字桐岡ニ在リテハ宅地ニ變動ヲ及ホシ居住ニ堪ヘズシテ他ニ轉居セルモノアリ大字丹土村ニ於テモ變動ノ勢人家ニ近ツキ危險ノ虞レアルヲ以テ村民一同恐怖シ居レリ其他地盤ハ變動セサルモ前記變動地ヲ通過スル井溝大ニ破損シ灌漑ノ使用ヲ爲ス能ハスシテ畑地ニ變換セサルヲ得サルモノ目下九反歩餘リアリ

右變換地反別及地價ヲ地目限リ區別スレハ左ノ如シ

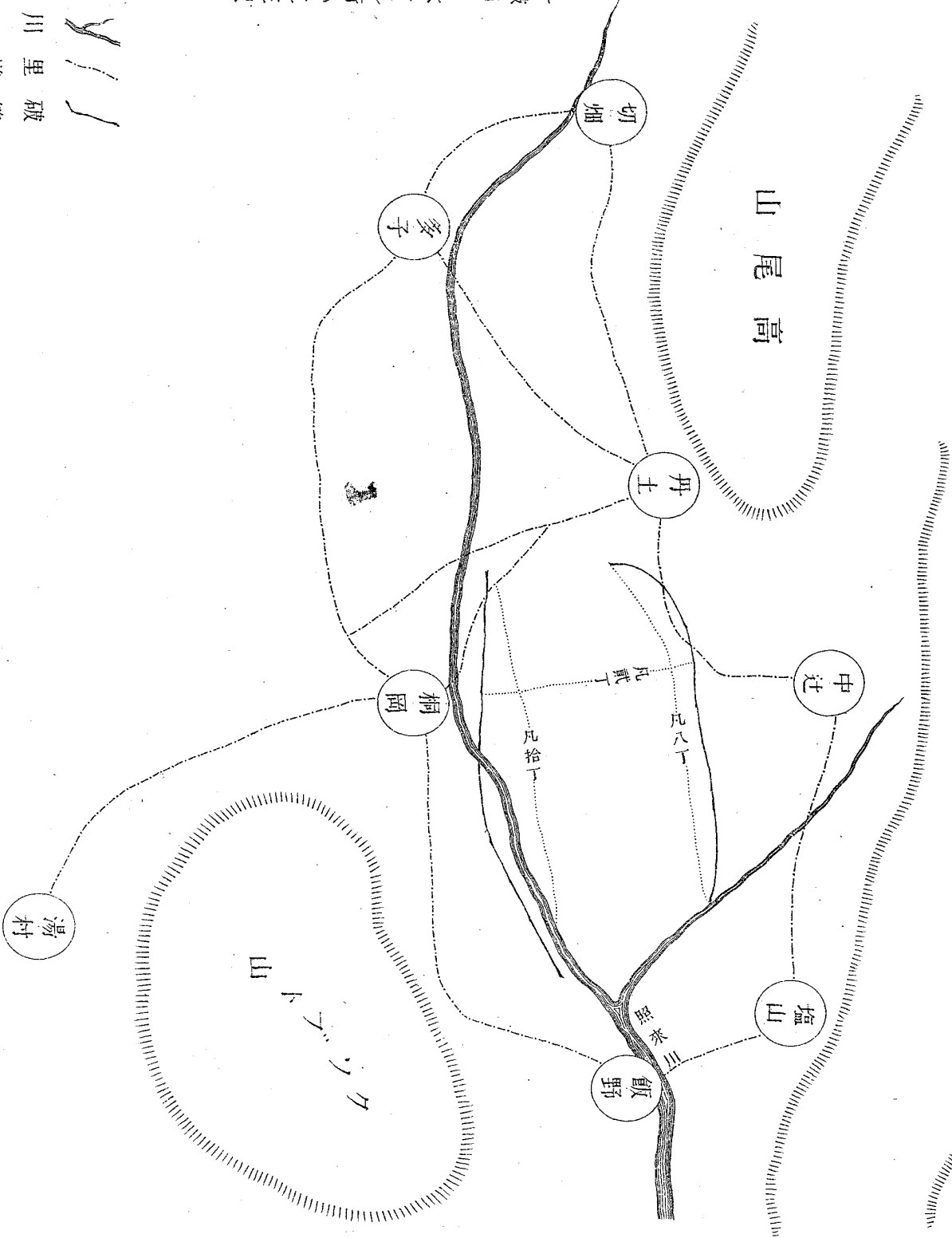
田反別拾八町七反九畝拾步	地價金六千九百八拾五圓
畑反別壹町六反四畝廿七步	全 百貳拾四圓八拾錢
宅地反別五畝五步	全 九拾五錢四厘
原野反別三反八畝五步	全 九拾錢參厘
道路參百六坪	
溝四百九拾四坪	

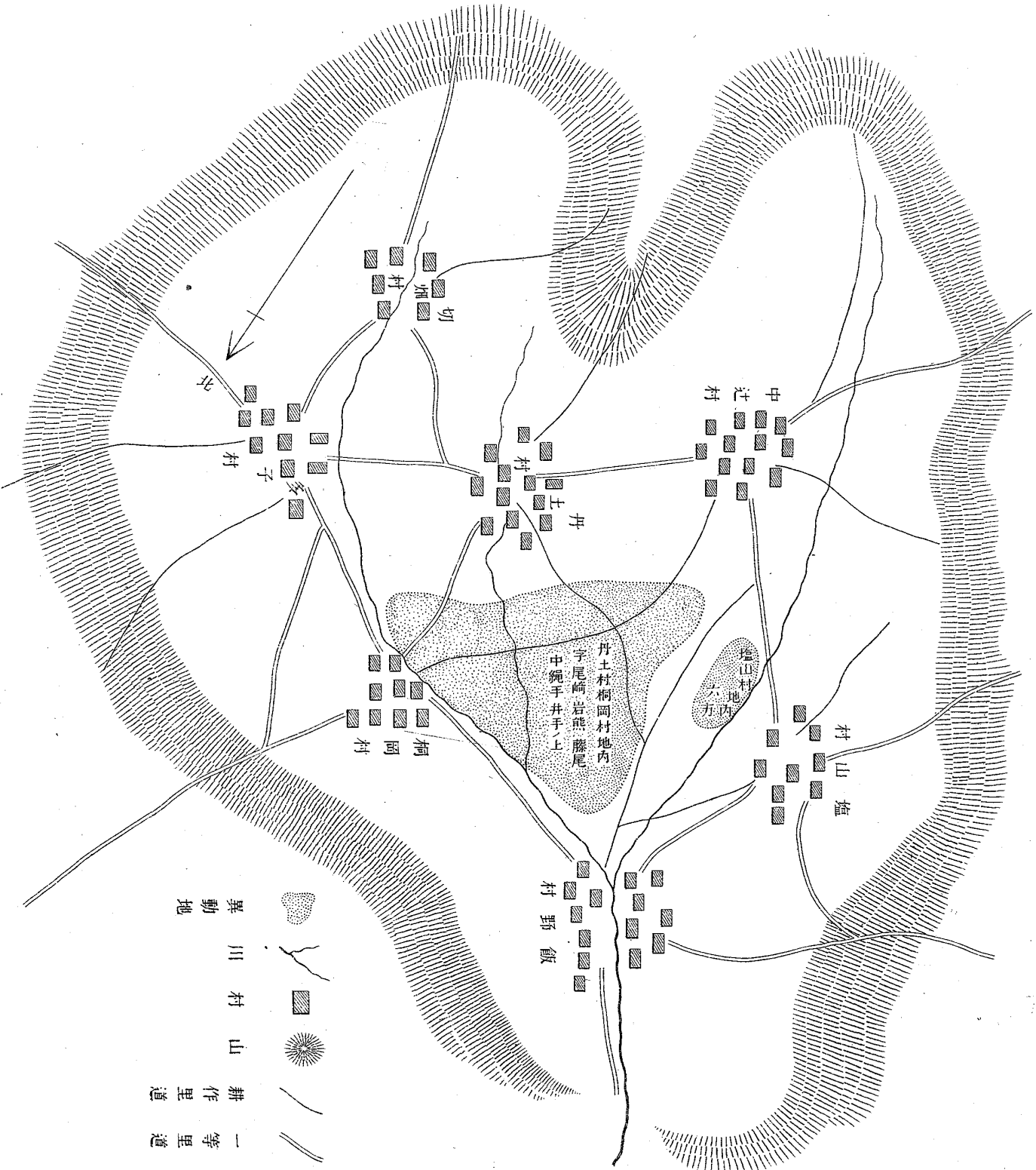
美方郡照來村變動地畧圖



- 一 破目ノ大ナル所ハ二三尺
- 一 不動地下ノ界離靜ハ凡
- 一 一尺以上一尺四五寸ニ至ル所ナリ
- 一 一尺ノ凹ハ凡一尺以下ト見込

川 里 破
道 線





- 一等里道
- 耕作里道
- 山
- 村
- 川
- 異動地